



特別企画

スポーツ少年団を母体として活動しているクラブ



いけだスポーツクラブ ＜徳島県三好市＞



総合型クラブが地域に定着し、浸透するためには、地域との一体感の醸成が重要となります。そのために、スポーツ少年団をはじめとする地域のスポーツ団体等と相互扶助の関係を築き、地域社会からの信頼性を確保し、地域に根差す団体となる必要があります。

そこで今回は、スポーツ少年団を母体として活動し、地域におけるスポーツ推進体制を高めているクラブを紹介します。



1 クラブ概要

- 平成12年より取り組みを始め、平成16年3月設立しました。

地域スポーツの文化が維持できなくなる危機を迎え、“危機”を“チャンス”と捉え、スポーツを通じて生きがいのある生活と活力ある地域の連携を促進していくことのできるクラブづくりを目指し、まちづくりの具体的方策として立ち上げました。

- 教 室 11教室（県立高校・医療施設連携含む）

- 会 員 235人

- 指導者 22人（有資格18人、無資格4人）＝全員有償

- 事務局 4人（クラブマネジャー1人、アシスタントクラブマネジャー1人）＝常勤・有償

他にも、公認スポーツ指導者だけでなく、指定管理等を受けるため防火管理者・公認スポーツ施設管理士らが在籍しています。その方々のためにクラブで費用を負担し、育成・スキルアップを図っています。

2

少年団・学校と連携し、 小中高生の相互交流イベント実施

『スポーツマーケット』～少年団・学校との連携～

スポーツマーケットとは、小・中・高校と卒業を契機に途切れてしまうスポーツ活動を見直し、少年団リーダー会を中心に取り組んでいるスポーツ体験イベントです。青少年のスポーツ環境を整備することは、いけだスポーツクラブ立ち上げの原点でもあります。それは少年団だけではできない事案でもあり、総合型クラブを活用すべきと考えます。当クラブが役割分担として少年団に関わることで、環境整備をより推進できるとの判断から、少年団との連携に取り組むようになりました。

『スポーツマーケット』は、少年団が主となり運営をしており、学校は周知活動（小・中学校）やスタッフ（高校）としての生徒派遣を行っています。クラブ側は、人材派遣でサポートし、周知活動にも寄与しています。

高校生リーダーが中心となり企画・運営 大人は後方支援

この連携は「小・中・高校生のスポーツ活動継続支援事業」です。学校の協力を仰ぎながら、少年団員だけでなく市内の小中学生に呼びかけを行い、高校生のリーダーたちが中心となって作成した、様々なスポーツの体験ブースに参加してもらうことで、小中高校生の相互交流を行っています。リードアップするのは三好市スポーツ少年団に設置されたリーダー会で、指導者・高校教員・クラブスタッフはプログラムのコンセプトだけをアドバイスし、後方支援に徹しています。高校生リーダーは、参加してくれる運動部に交渉し、ディスカッションしながら、企画したプログラムを彼ら自身で役割分担して、集合から解散までの全てを担います。

少年団員にとって貴重な実体験の場に

このイベントを通して、単に多様な年代とスポーツを楽しむだけでなく、教えたり、教えられたりするような交流を深める中で、小中学生の面倒を見るということや、高校生に対して憧れや敬意を払うといった社会的相互作用が促進され、社会の好循環につながります。スポーツ少年団員にとっても日ごろ体験できないような学習の場となり、地域とのつながりを実体験できているようです。



～スポーツマーケット～
高校生と他の少年団・学校の人たちとスポーツ



～スポーツマーケット～
小さな子どもたちと同じ目線で、手を添えて、優しく対応

3

高校生リーダーに地域愛 クラブ側には持続的人材育成の効果

相互交流イベントを実施することで少年団の理念に沿った理解が進み、関わったリーダーの高校生達には、地域愛が芽生えます。将来ふるさとに戻り、クラブをはじめ地域スポーツ振興に関われる進路を選択する高校生もいます。また、学校教員の方々にも人材育成にご尽力いただけるようになりました。クラブ側にとっては、次世代の人材が、持続的に育成できるようになっている点が大きな効果と言えます。

次世代の人材育成の役割担う少年団活動

スポーツ少年団活動は、単に小学生対象にスポーツ活動だけを行う組織ではなく、地域を支える次世代の人材育成の役割を担う組織でもあります。交流イベントを実施することで、少年団指導者・保護者・チラシ配布等協力いただく学校・行政、そして高校の教員の方々に、スポーツ少年団活動が次世代の人材育成につながっていることへの理解が深まるという効果が生まれております。

高校生の進路選択に好影響 スポーツ指導者への道を選ぶ生徒も

地域と関わる事業を体験してきた高校生の中には、「生涯スポーツの指導者を目指したい」「スポーツを通して地域が活性化されるようなことに関わりたい」という志を持って進路を選択する生徒もいます。一方、高校側でも指導者育成に理解が進み、進学した高校生は一様に「ここが好きです、卒業したら帰ってきたいです」とすがすがしい顔で巣立っていきました。

スポーツの力やスポーツで人をつなぐスポーツ少年団の仕組みが拡充できるよう、連携してクラブづくりに生かしています。

4

指導者の確保、活動種目の拡充等が今後の課題

関係組織とのネットワーク強化で地域に寄与するクラブづくりを

今後の課題としては、持続的な人材育成や、円滑な事業運営・展開をしていくためのビジョンを作成し、指導者の確保(育成)や活動種目の拡充など多々あります。各関係団体・機関とのネットワークを強化し、地域に果たすミッションや仕組みを見直し・拡充して、地域住民の健康・スポーツ振興のよりどころとして長く続けていけるクラブづくりを目指しています。現在は、その足固めをしている状況です。

コロナ禍で制限ある中、スポーツ環境の提供に努力

新型コロナウイルス感染拡大防止等により、クラブも少年団の活動にも制限がかかる日々ですが、工夫をして、地域住民やスポーツ少年団員らが伸び伸びとスポーツに親しめる環境を提供できるよう努力してまいります。

(いけだスポーツクラブ クラブマネジャー 大西 真知子)

クラブプロフィール

設立年月日 平成16年3月16日

所在地 徳島県三好市池田町マチ2551番地1

運 営 会員数235名(令和3年12月現在)、予算規模2,700万(令和3年度)

特 徴

- ・自分たちのことは自分たちで、
- ・必要な経費は出し合いながら、
- ・楽しかったことはお返しして、未来の子どもたちのために

連絡先 〒778-0002 徳島県三好市池田町マチ2551-1 三好市池田総合体育館内

TEL 08883-72-5755 FAX 0883-72-5765

URL <http://cn05.awaikeda.net/~ikesupo/index.html>

E-Mail ikesupo@05.awaikeda.net